



平和学習授業づくり交流会、開催される！③

NO. 18 からのつづきです。前号で紹介された「こわいをして、へいわがわかった」の詩と参加者の感想です。



こわいをして、へいわがわかった  
 せんそうがこわいから へいわをつかみたい  
 ずっとポケットに入れても 置いておく  
 なくさないように  
 わすれないように  
 こわいをして、へいわがわかった

おねえちゃんとかんかした  
 おかあさんは、二人の話聞いてくれた  
 そして仲なおし、これがへいわなのかな  
 せんそうがこわいから へいわをつかみたい  
 ずっとポケットに入れても 置いておく  
 なくさないように  
 わすれないように  
 こわいをして、へいわがわかった

こわいよ  
 かなしいよ  
 せんそうだよ  
 へいわ？ へいわ？ へいわ？  
 へいわ？ へいわ？ へいわ？

七十七年前のおきなわの絵だと言った  
 ほんとうにあったことなのだ  
 たくさんの人たちがしんで ガイコツもあった  
 わたしとおなじ年の子どもが かなしいそうに見ている

風ぐるまやチョウチョの絵もあったけど  
 とてもかなしい絵だった

小さな赤ちゃんや、おかあさん  
 こわくてかなしい絵だった  
 たくさんの人がしんで

おじいちゃんやおばあちゃんも  
 みんなでお出かけ うれしいな  
 こわくてかなしい絵だった  
 たくさんの人がしんで

沖縄市立山内小学校2年 徳元穂菜



こわいをして、へいわがわかった

八幡大空襲について自分自身がもっと学ばないといけないと感じました。語り部の方がだんだん伝えられなくなってきた今だからこそ、歴史を知り想いを繋ぐことの大切さを感じます。子どもが「昔のことだから」「こわい話」で終わらないようにしていきたい。

自分ごとととらえること、考えること、そしてそれをどう伝承するか、本当にそこだと思いました。とてもいい、学習会をありがとうございました。

地元の戦争体験などを教材化して取り組む必要性、またアウトプットを学習者の実態に合わせて行うこと、何よりも人権学習に繋がる平和学習が心に残りました。実践を重ねて参りたいと思います。

出口さんのお話をきいて、自分が学校現場でできることは、まだまだたくさんあるなと思いました。困難は様々で挙げればキリがないですが、絶対に平和教育をあきらめずに取り組みたいと思いました。

自分ごとに考えることが大事で、特別支援学校の子に平和学習をするには？と工夫を重ねていますがより分かるよう研鑽していきます。

具体を伝える重要性を感じ、自分もまだまだだと思わざるをえませんでした。

平和学習の積み重ねを、勤務されていた小学校を退職された後も、新しい地域という場でさらに拡げていくライフワークのとりくみ、私も頑張りたいと思いました。

自分達が平和学習をしていた頃と今はずい分情勢も変わり、むずかしくなっていることを実感しました。同時に継承ができていないことの責任も感じました。組合には、たくさんの紙芝居や資料があるので若い人たちが活用できるようにしていきたいです。戦争が身近に感じる今こそ、若い世代への語り継ぎを大切にしていきたいです。

(今後、学習会で行ってほしいこと)北九州は戦前軍都として栄えてきました。その名残が至るところにまだ残っています。そういう戦跡をめぐるフィールド・ワークを計画してはどうでしょうか。現地を実際に目でみて感じることは、写真を見たり話を聞いたりする以上のものを感性に訴えます。平和教育の先輩たちを、今のうちに活用して下さい。

出口さんと河原さんのお話は、平和学習を進めるうえで多くの示唆に富んだ内容でした。戦争体験の継承が難しくなる中、子どもたちに何をどのように伝えていくのか、その実践につながる大きなヒントを得ることができました。北九州教育会館では、平和学習に役立つDVD・紙芝居・パネルや書籍などの教材貸し出しも行っていきます。学んだことを各校の実践に生かし、平和への願いを次世代へとつないでいきましょう。



わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

